

## 2024年度第4回京都競馬特別レース名解説

### <第1日>

#### ○ 聖護院特別

聖護院（しょうごいん）は、京都市左京区にある寺院とその周辺の地域。排水の良い高燥地であったことから、かつては農業地域として利用され、聖護院ダイコン・聖護院カブなどの名が残っている。

#### ○ 若狭湾特別

若狭湾（わかさわん）は、京都府北部から福井県北部の日本海に面した深く入り込んだ海湾。日本海側としては珍しくリアス式海岸を形成している。

#### ○ 農林水産省賞典鳴尾記念（GⅢ）

本競走は、1951年に創設された重賞競走。創設当初は春と秋の年2回実施されていたが、1954年から現行の年1回となった。2012年より夏季競馬の中距離競走の充実を図るため、実施時期を12月から6月に移し、距離も2000mに変更されている。本年は阪神競馬場スタンドリフレッシュ工事に伴い、京都競馬場において2000mで実施される。

競走名は、1907年に関西競馬倶楽部が兵庫県武庫郡鳴尾村に建設した「鳴尾競馬場」に由来する。1943年、太平洋戦争の激化に伴い海軍に徴用されたことで、同競馬場は幕を下ろしたが、現在も武庫川女子大学の浜甲子園キャンパス内にスタンドの一部が残っている。

### <第2日>

#### ○ 祇園特別

祇園（ぎおん）は、京都市東山区八坂神社（祇園社）およびその周辺の地名。門前町として発展し、花街としても知られる。現在でも、町家や石畳の風情が残り、京都観光の中心地のひとつとして親しまれている。

#### ○ 下鴨ステーキス

下鴨（しもがも）は、京都市左京区の地名で、賀茂川と高野川にはさまれた地域。下鴨神社があることで有名。同神社は、賀茂御祖（かもみおや）神社の通称。祭神は玉依姫命（たまよりひめのみこと）と賀茂建角身命（かもたけつのみのみこと）。

#### ○ 松風月ステーキス

松風月（まつかぜつき）は、陰暦6月の異称。風を待つ（松）月の意。

## <第3日>

### ○ 一乗寺特別

一乗寺（いちじょうじ）は、京都市左京区にある地名。剣豪として知られる宮本武蔵が吉岡一門と闘った「一乗寺下り松の決闘」の地として知られている。決闘の地となった八大神社には、現在も下り松が保存されている。

### ○ 長浜特別

長浜（ながはま）は、滋賀県北東部に位置する市。交通や水運の要衝として発展した。古くは今浜と呼ばれていたが、この地を与えられた羽柴秀吉が織田信長の「長」をとって長浜と改称した。

### ○ 水無月ステーキス

水無月（みなづき）は、陰暦6月の異称。この時期は、青葉の茂る季節であることから「青水無月」とも呼ばれる。

## <第4日>

### ○ 常盤特別

常盤（ときわ）は、京都市右京区にある地名。名は、同地に山荘を構えていた、嵯峨天皇の皇子である源常（みなもとのときわ）に由来する。源義経の母は、この地で生まれたことにちなんで「常盤御前」と名付けられたと言われている。

### ○ ウインズ広島開設40周年記念 安芸ステーキス

本競走は、ウインズ広島開設40周年を記念して実施される。

安芸（あき）は、山陽道にあった旧国名のひとつで、現在の広島県西半分にあたる。古くは「阿岐」と書いた。日本三景のひとつである「安芸の宮島」が有名。

### ○ 三宮ステーキス

三宮（さんのみや）は、神戸市中央区の地名。神戸市随一の繁華街として有名。名は、三宮神社（生田神社の三の宮）に由来する。開国以降、外国人が多く居住していたことで知られ、現在でも北部の北野異人館街には異国情緒溢れる町並みが広がっている。

## <第5日>

### ○ 稲荷特別

稲荷（いなり）は、京都市伏見区の山。東山連峰の南端に位置する。西麓には、秦伊呂具（はたのいろぐ）が鎮守神として創建したとされる伏見稲荷大社があり、山麓から山頂まで千本鳥居が続いている。同大社は、全国の稲荷神社の総本社として信仰を集めている。

### ○ 保津峡ステークス

保津峡（ほづきょう）は、京都府亀岡市保津橋から京都市嵐山までの約16kmの保津川沿いの渓谷。嵐山とは対照的に巨岩奇岩が連続する景勝地である。保津川は江戸時代初期に角倉了以によって開削され、丹波地方から京都へ木材や穀類を運ぶ水路として利用された。小船で亀岡から嵐山までの渓谷美を楽しみながら下る「保津川下り」が人気であり、並行して走るJR山陰本線の旧線を利用した嵯峨野トロッコ列車とともに、桜・新緑・紅葉・雪景色と四季の美を楽しむことができる。

### ○ サマーマイルシリーズ米子ステークス（L）

全4戦で実施されるサマーマイルシリーズの第1戦。

米子（よなご）は、鳥取県西部の市。農業、漁業が盛んで、白ねぎ・二十世紀梨・岩ガキ・松葉ガニなど特産品が豊富。

なお、同市にはJRAの場外勝馬投票券発売所であるウインズ米子がある。

## <第6日>

### ○ 皆生特別

皆生（かいけ）は、鳥取県米子市の温泉地。同地域は、1981年に日本初のトライアスロン大会が開催されたことから、日本におけるトライアスロンの聖地としても知られる。

### ○ 天橋立ステークス

天橋立（あまのはしだて）は、京都府北部宮津市にある砂嘴でできた砂浜。逆さになって見ると天に架かる橋のように見えることからこの名がついたと言われている。陸奥の「松島」、安芸の「宮島」と並び、日本三景の一つに数えられる。河川から流出した砂や小石などが海流に乗って移動し蓄積され形成された。全長3.6kmで、その両側には約7,000本の松が植えられている。

## ○ マーメイドステークス（GⅢ）

本競走は、1996年に創設された牝馬限定の重賞競走。創設時より3歳以上、距離2000mで実施されている。当初は別定重量戦で行われていたが、2006年よりハンデキャップ戦となった。本年は阪神競馬場スタンドリフレッシュ工事に伴い、京都競馬場において2000mで実施される。

マーメイド（Mermaid）は、上半身が人で下半身が魚の伝説上の生き物である「人魚」を意味する英語。

## <第7日>

### ○ 京極特別

京極（きょうごく）は、京都市内の地名。かつては京の端を意味し、平安京の東西両端には、東京極大路と西京極大路がそれぞれ南北に通じていた。京都の新京極通は、歴史ある商店街として、1872年の誕生から現在に至るまで栄えている。

### ○ ストークステークス

ストーク（Stork）は、コウノトリの英語名。全長1mほどで、ツルに似た外観を持つ。首と胴体は白色で、風切り羽は黒色。くちばしは黒色で長く太く、赤色の長い脚を持つ。アジアに分布しているが、現在は絶滅の危機に瀕している。

### ○ 天保山ステークス

天保山（てんぼうざん）は、大阪市港区にある標高4.5mの人工山。1831年（天保2年）におこなわれた安治川河口浚渫工事の際、土砂を盛り上げて築かれた。現在は大阪市ベイエリアの一角として発展している。

## <第8日>

### ○ 木屋町特別

木屋町（きやまち）は、京都市中京区にある地名。高瀬川沿いに位置している木屋町通は日本初の電車が走ったことで有名。また、周辺には土佐藩邸や長州藩邸などがあったため、維新の志士が集まる旅館や料亭が多くあり、幕末を代表する地としても有名。

### ○ 瀬田特別

瀬田（せた）は、滋賀県大津市の一地区。近江八景の1つ「瀬田の夕照」で知られ、日本三名橋の1つである「瀬田の唐橋」がある。「唐橋を制するものは天下を制する」といわれるほど、昔は交通や軍事の要衝であった。

## ○ JRAウルトラプレミアム サイレンススズカカップ

本競走は、JRA70周年「メモリアルヒーロー」ファン投票において、『宝塚記念』の歴代優勝馬の中から選ばれたサイレンススズカ号の名を冠した競走。

サイレンススズカ号は、1998年（第39回）の『宝塚記念』優勝馬。同レースでは、G I馬4頭を抑えて1番人気に支持され優勝。5連勝でG I初制覇を達成した。続く『毎日王冠』でも、無敗の3歳馬であったエルコンドルパサー号、グラスワンダー号に完勝するなど、輝かしい実績を残した。

なお、本競走は、払戻額を大幅に増加させる「JRAウルトラプレミアム」の対象競走。

## ○ 宝塚記念（G I）

本競走は、1960年に創設された重賞競走。初年度は3歳以上の1800mで実施されたが、翌1961年に2000mとなり、1966年から現行の2200mとなった。また、1968年から開催時期が前倒しとなったことに伴い4歳以上の古馬限定戦となったが、1987年に開催時期が繰り下げられたことにより、春を終えた3歳馬にも再び出走資格が与えられるようになった。年末に中山競馬場で行われる『有馬記念』と同様、ファン投票によって出走馬が選定され、上半期のG I戦線を締めくくる一戦として定着している。本年は阪神競馬場スタンドリフレッシュ工事に伴い、京都競馬場において2200mで実施される。

宝塚（たからづか）は、兵庫県南東部の市。同市は阪神競馬場の所在地でもある。

## ○ リボン賞

リボン（Ribbon）は、紐状の織物のこと。勲章として用いられる他、衣服・帽子・頭髪や贈り物の装飾として結んだ形で使われることが多く、本競走は上半期の締めくくりとして第4回京都競馬最終日最終競走に実施される。